

日本社会科教育学会 春季研究会 発表資料

# 国際バカロレアの実施の概況的報告 ～社会科に焦点をあてて～

筑波大学教育研究科大学院生  
国際バカロレア機構 前Japanese Translation Lead

佐々木南実

2019.3.23.

# 国際バカロレア(International Baccalaureate)とは

- 国際バカロレア機構は、1968年に設立された非営利教育機構(本部:ジュネーブ)で、カリキュラムの開発、生徒の評価、専門のIB教員の養成、IB校の認定・評価を実施している。
- 3歳～19歳の生徒を対象にした4つのプログラムを通じて、生徒が将来、急速に進むグローバル社会を生き抜くうえで、学び、そして働き続けるために必要な知性、人格、情緒、社会的なスキルを身に着けることが可能とされている。
- 世界4,960の学校で導入されている(2018年10月現在)。
- 「国際教育\*は『ビッグマックとコーク』と同義に解釈することができる。どこの国で提供されるかにかかわらず、同じ品質基準を保証するグローバルなブランド商品だ。」(Cambridge, 2002)

出典: Cambridge, J. (2002), Global product branding and international education, Journal of Research in International Education, 1-2, p.227-243.、文部科学省ホームページ「国際バカロレアの概要」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/ib/\\_icsFiles/afieldfile/2014/04/15/1326221\\_06\\_1\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/_icsFiles/afieldfile/2014/04/15/1326221_06_1_1.pdf) ほか

## The IB mission (国際バカロレアの理念)

- 国際バカロレア (IB) は、異文化理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界の実現のために貢献する、探究心、知識、そして思いやりのある若者を育てることを目的としています。
- この目的を達成するために、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。
- IBのプログラムは、世界各地で学ぶ若者たちに向けて、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ることを認められる人として、生涯にわたって積極的に、そして共感する心とともに学び続けるよう働きかけています。

# IB Learner Profile: IBの学習者像

Inquirers 探究する人

Knowledgeable 知識のある人

Thinkers 考える人

Communicators コミュニケーションができる人

Principled 信念をもつ人

Open-minded 心を開く人

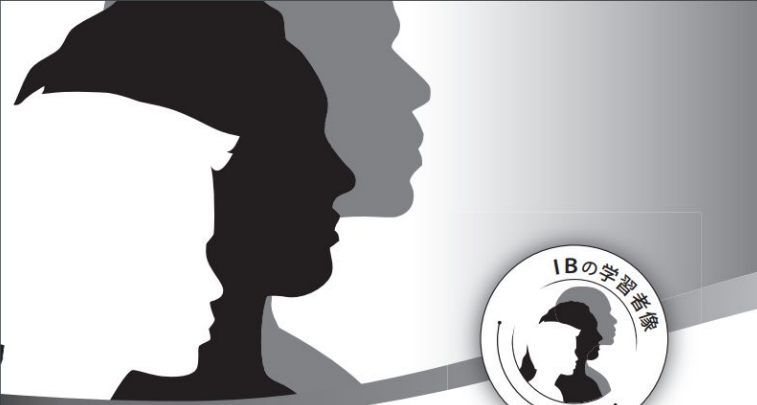
Caring 思いやりのある人

Risk-takers 挑戦する人

Balanced バランスのとれた人

Reflective 振り返りができる人

出典: [www.ibo.org](http://www.ibo.org)



## IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

### 探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生産を通じてもち続けます。

### 知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

### 考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

### コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

### 信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がかつ尊敬と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

### 心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

### 思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

### 挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

### バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生活を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

### 振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

# IB校になるためには

- 学校がIBを導入するにあたっては、まず学校現場において「事前準備」が求められる。準備状況がIB機構に評価され、実施して良いという「認定」を受けなければ、IB認定校になることは出来ない。
- 学校の施設や設備をIBが定める規格に刻り、整備する必要がある。理科の実験室や図書室、ICT環境等である。  
(川口、江幡、2017)

出典：川口 純、江幡 知佳 (2017)日本における国際バカロレア教育の需要実態に関する一考察：ディプロマプログラム ( DP)に着目して、筑波大学教育学系論集、 41-2 , p.35 - 48、文部科学省「国際バカロレア認定のための手引き」

年	月	ステージ	項目	支払い	ワークショップ			
2016年	1月	関心校	スクールインフォメーションフォーム提出		学校管理者ワークショップ			
	2月							
	3月		候補校申請提出 (4月1日)	候補校申請費支払				
	4月	関心校	書類検討～候補校認定通知					
	5月							
	6月							
	7月							
	8月							
	9月			候補校年会費支払 (9月1日)				
	10月	候補校	コンサルタント決定 コンサルタント訪問	コンサルタント訪問費用	DPコーディネータ・ワークショップ 科目別ワークショップ			
	11月							
	12月							
1月								
2017年	2月	候補校	認定校申請提出 (5月1日)	無料				
	3月							
	4月							
	5月							
	6月					書類検討	候補校年会費支払 (9月1日)	
	7月							
	8月							
	9月					申請書フィードバック		
	10月					確認訪問	確認訪問費用	
	11月							
	12月							
	2018年					1月	認定校	認定通知
2月								
3月								
4月		授業実施準備期間	認定校年会費支払					
5月								
6月								
7月								
8月								
9月				IBD授業スタート				

## IBの中の「社会科」:

## 「個人と社会」におけるIBの 一貫教育の道筋

出典:MYP「個人と社会」指導の手引き  
(IBO2016)

下線は日本語で実施  
されているDP科目  
(経済、地理、歴史)

### ディプロマ プログラム (DP)

**グループ3—個人と社会：**  
経営、経済、地理、国際政治、  
歴史、グローバル社会の情報技術、哲学、  
心理学、社会および文化人類学、  
世界の宗教、環境体系と社会

### 中等教育 プログラム (MYP)

**個人と社会：**  
歴史、地理、総合人文学、  
その他（人類学、ビジネス管理、経済、  
哲学、政治学、心理学、社会学、世界宗教など）

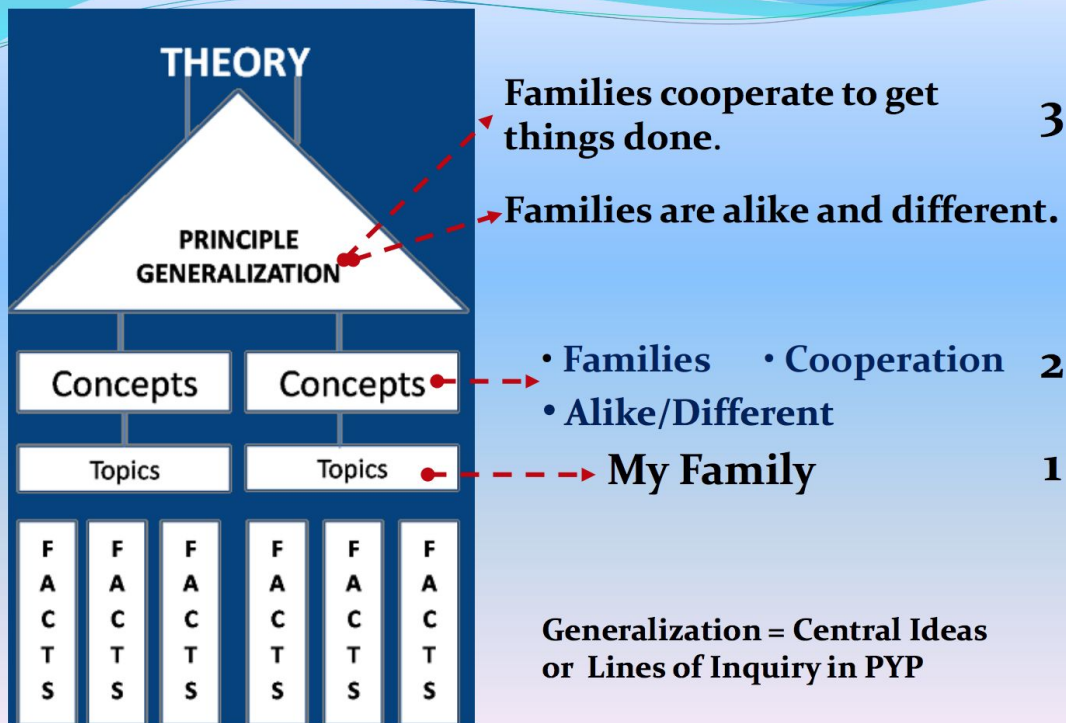
### 初等教育 プログラム (PYP)

社会科



# エリクソンの概念学習の一例 - PYP社会科

## The Structure of Knowledge - PYP



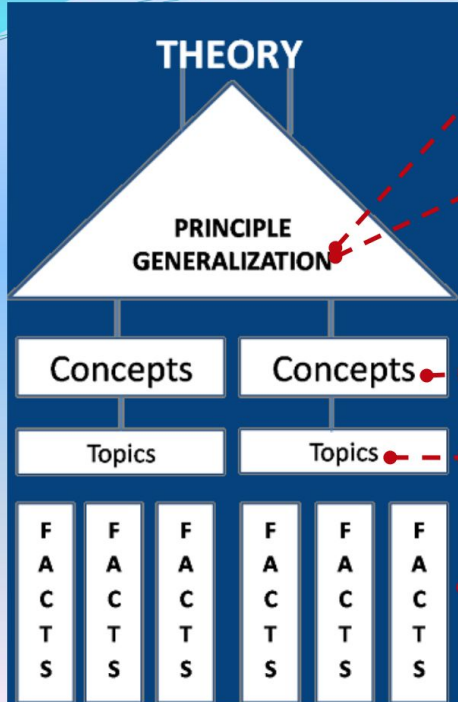
© 2011 H. Lynn Erickson

- 家族は協力して何かを成し遂げる
- 家族は似ているところも似ていないところもある
- 家族、協力、似ている/似ていない
- 私の家族

一般化=PYPにおける「中心的アイデア」または「探究の流れ」

# エリクソンの概念学習の一例 - MYP個人と社会

## The Structure of Knowledge - MYP



© 2011 H. Lynn Erickson

People adapt to changing environments.

Migration leads to cultural diffusion resulting in social/economic change.

• Migration • Cultural diffusion  
• Needs • Change

• Early European Migration

Early European settlers migrated west. Early European settlers looked for new opportunities.

Generalizations = Significant Concept Statements and supporting ideas in formative unit work.

- 人々は変化する環境に順応する
- 移住は文化の拡散をもたらす、それは結果として社会的／経済的変化をもたらす
- 移住
- 文化の拡散
- 必要
- 変化
- ヨーロッパからの初期の民族移動
- ヨーロッパからの初期の開拓民たちは西に向かった
- ヨーロッパからの初期の開拓民たちは新天地を求めていた

一般化=形成的に単元について学習する際の重要な概念的ステートメントとそれを支える考え